

## 「佐原囃子保存会」

事務局長：廣川 邦男

### ～東日本大震災に関する地域文化活動のご報告～

千葉県香取市もこの度の東日本大震災では大きな被害を受けました。

液状化の面積は後樂園ドーム 750 個分、全壊・半壊家屋は 5,000 戸に及ぶものとなりました。

関東では国指定第 1 号である佐原の重要伝統的建造物群地区に在る古い土蔵や家屋の被害も大きなものとなり震災後の観光客数は 80%減という惨憺たる有様で、香取市の中心である佐原の市街地の被災家屋も 3,500 戸と市全域が一時期沈滞ムードに覆われました。

そんな中で、この沈滞ムードを吹き飛ばし被災した方々を元気づけるため、こんな時こそ佐原囃子を鳴り響かせようと NPO まちおこし佐原の大祭振興協会が主催し、佐原囃子保存会が協力団体としてボランティア出演を募集し、5 月 21 日（土）に佐原囃子 7 団体、手踊り 2 団体、神楽 1 団体の総勢 140 名によるイベントを開催いたしました。

題して～復興佐原へ 今こそ響け 佐原ばやし GEZA ～

当日は、①3 時から町中を流れる小野川にて佐原囃子の下座船を運航

②5 時から小野川脇の駐車場にて、開催に先立ちお祓いと復興を祈願して神楽の奉納

③5 時 20 分より 8 時 30 分迄 7 団体による佐原囃子演奏と 2 団体＋入場者参加の手踊り

というプログラム。何と 5 時間 30 分に亘り休むことなく、お囃子が響き続けました。

終了直前、賑やかな囃子に合わせての自由参加の手踊りでは、大人も子供達も入り乱れて盛り上がりを見せアンコールでの再度の大踊りにて無事終了。

やっぱり、佐原の人達は下座(佐原囃子)を聞くと元気が出るのだなぁと改めて痛感した一日でした。

入場料は投げ銭方式とし、集まった 1,102,089 円全てを香取市義援金として市に寄付いたしました。

囃子連には自らが被災者という人がたくさんいながらボランティア出演のみならず、囃子連として義援金も拠出していただきました。その心意気には、ただただ感謝のみです。

また、小さな子供たちが貯金箱に貯まった小銭を義援金箱に入れてくれたこ

とも印象に残りました。

さて、今月(7月)15日から3日間は佐原の夏祭りです。危ぶまれていた夏祭りも10台のうち8台が参加して例年どおり開催します。佐原は頑張っています。

まだまだイベントどころではない被災地がたくさんあります。でも、いつの日か何かをやる時が必ずきます。その時は、やはり地域の人々が築き上げ馴染んだものをするのが一番良いのではないかと思います。